

議題1 令和3年度第2回会議の結果について

議題1 白井市放課後子どもプラン推進委員会について	
各委員からの意見	
委員長	委員の皆様には、御多忙の中、委員会のために時間を割いていただき、感謝しておりました。 様々な立場から情報を出し合い、アイデアを練って実現に向けて提言していくという立ち位置を明確にして進んでいけたらと思います。 身勝手な考えですが、市内全ての小学校の管理職（教頭先生になるでしょうか）とPTA会長さんにお集まりいただいて情報交換する会があるといいですね。別組織でかまいませんが…。
委員	コロナ禍においては、委員会の開催も難しいと思いますが、各委員の方々にインターネットなどの環境をご確認いただき、可能であればZoomなどのオンライン委員会開催もご検討いただければと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題も含めて理解しやすい内容である。</li> <li>・子ども教室と学童はすみ分けをしなければならないのか。</li> </ul>
委員	前回の推進委員会の議事録があれば拝見致したい。

議題2 白井市放課後子どもプランの現状について	
各委員からの意見	
委員長	3小学校で放課後子ども教室が開設されていると認識しております。 児童が自宅で一人で留守番になってしまうケースは、学区内の家庭環境の特徴によって、差が出てくることでしょうか。例えば祖父母と同居している家庭が多いとか、新興住宅地で核家族が多いとか。となりますと、小学校によって事情が異なってきますので、適切に対応するために現状把握が大切になってきますね。教室は週一回ですから、参加している児童が他の日はどうしているか、という調査も必要かと思います。
委員	各子ども教室ともに開設した経緯が違うことから活動内容や体制なども様々かと思います。しかし、現場で子どもたちと接しているスタッフの皆様の中には、目的（ねらい）をもって活動内容を企画し、実際に子供の反応を見て得られている成果もあると考えます。
委員	学童とのすみ分けが必要。子どもたちがイキイキするような場の設置であって欲しいと思います。学童との一体型ではすみ分けがうまくできないと考えます。
委員	市の重点戦略事業のわりには各年度に1校増やしていくのでは時間がかかりすぎではないか。スピード感があった方が良い
委員	近隣なら我孫子市、あと都内ですが港区みたいに毎日、長期休みも・・・というのが理想です。ようやく動き出したばかりですが、もう少し回数を増やしてほしいです。今の状態だと小1の壁は高いです・・・でも、すごく頑張っているのはわかります。ありがとうございます。
委員	池の上小学校の放課後子ども教室の現地視察をしたい。

議題3 今後の白井市放課後子どもプランの推進について

各委員からの意見

<p>委員長</p>	<p>まずは全小学校での開設を考えていくこととなりますね。次には、船橋市や我孫子市のように週5日、全学年を対象に教室を開くことが目標になるでしょう。「地域社会で子どもを見守り育てる」ものですから、市全体で考え進めていくことであるという意識を持っていただくことが肝要です。そのうえで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティアで御協力いただける人材の確保 シルバー世代に限らず、中学生や高校生、現役の職業人にも声をかけ、人材バンクのようなものを作る</li> <li>②予算の確保</li> <li>③備品の確保 予算が潤沢にあればそれぞれの小学校にお預けすることもできますが、学校ごとに週を変えて実施することにし備品を移動することにすれば、1セット準備すれば良いこととなります。ということを実現していけたらと考えます。</li> </ul> <p>我孫子市の御担当者にお出でいただいて御講演いただくのはどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>議題2の通り、スタッフの皆様がどのような目的（ねらい）で活動内容を企画し、子どもたちの反応を見てどのような成果が得られているか、また、今後の子ども教室のあり方をどのように考えているかなど、アンケートを取ってみるのはいかがでしょうか。今後の推進にあたっては、ご利用者である保護者、児童、スタッフの三者に定期的なアンケート等で現状を把握し、内容を検討しながら、白井市の魅力ある子どもプランに発展できればと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>地域の人材不足とあるが、協力してくれる団体や退職した方々など、いろいろな知識や技能を持っている方がいるのではないかな。 市としてもっとPRすれば、人材は発掘できるのではないかな。</p>
<p>委員</p>	<p>17時までは放課後子ども教室、それ以降は学童とか時間で区切るの難しいのでしょうか。学童ほど遅くまでは不要だけど、パートや時短でも下校時間にはまにあわない、17時または17時半なら迎えに行ける、という親は多い気がするのではないかな。</p>

その他

各委員からの意見

<p>委員長</p>	<p>「白井市放課後子ども総合プラン」に関して</p> <p>1 名称 初めに「白井市」を冠したのは適切でした。 今回から初めて取り組む計画ではなく、既に取り組まれており実績もある上での計画ですから、例えば「第二期」というような表現を入れたらどうかと思います。「白井市放課後子ども総合プラン（第二期）行動計画」という類です。「第二次」よりはニュアンスとして「第二期」かなと思います。 名称の統一表記が必要かと思います。2ページの6の（2）では「新・放課後子ども総合プラン行動計画検討委員会」とあり、組織体制表の市民参加の箇所では「白井市放課後子どもプラン推進委員会」となっています。「新・放課後・・・」は国の使っている表現で変えられないとすれば、体制表の中にも入れておきたいですね。</p> <p>2 計画策定の背景・目的 背景として国や白井市の施策、計画を明示したのは、このプランの重要性・必要性をより確かに理解していただけることになりますね。 この項目は「背景・目的」となっていますが、背景の内容に比して目的に関する記述が少ないように感じます。 些事ですが、「一人ひとり」は「一人一人」と記述するようになっています。</p> <p>3 計画の位置づけと策定方法 表記されているとおりでよろしいと思います。</p> <p>4 計画の期間 この通りで異論を唱えるところではありませんが、開始時期が年度途中の1月からとなっている点は、違和感を覚える方もおられるのではないかと懸念します。</p> <p>5 計画に盛り込むべき事項 （1）～（4）の通りと考えます。順序として（3）が一番目にならなくてもよろしいのでしょうか。また、運営態勢・方法・予算などはどこかに入っているのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>現在、コロナ禍で、子どもプランの活動を中止せざるを得ない状況となっています。今後、この感染症で活動が制約されていく時、どのように違った角度から活動を継続していけるのか考えていくことが重要になっていくと思います。特に“子どもプラン”の活動が、学童とは違い「地域の方々」の参画を得て多様な体験をさせたいという趣旨から運営されていることを考えた時、今後の活動の機会やプログラムなどの工夫が必要になってくると思います。例えば「ケアホームへの訪問」など行えない状況がでてきた時、リモートも視野に入れた活動等を取り入れるのか？その設備も準備できるのか？生涯学習課の方にも検討して頂きたいと思います。こんな時代だからこそ今以上に「子ども教室の場」は重要な役割を担ってくると思います。 子どもたちやスタッフ、地域の方々が無事安全に活動が出来るよう模索していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>書面でしたので多少不明な点もありますが、子どもたちのために、働く（母）保護者のために、より良いプランが出来たらと思います。コロナ禍での制限はありますが、授業では得られない活動が出来たら良いと思います。現行している学校を参考に、計画通り市内全小学校に開設できることを願います。</p>

委員	学童ほど遅く、おやつまでは必要としないけど下校時間には家にいることができないという親は多いと思います。それから「いいな～学童入ると放課後に校庭で遊べるんだよね」と言う子どもの声を聞いたことがあります。放課後子ども教室はそういうニーズに答えられると思いますし、ずいぶん昔から市に要望が上がっていたとも聞いています。まずは全ての小学校で無事にスタートできることを願っています。
委員	配布された会議資料について、「学童」を「学童保育所」に変更していただきたい。